

子どもたちが自由に遊べる場所づくり ～地域による検討の実践～



幸区

令和3年12月19日
第51回 車座集会



今までの経緯

令和元年11月 古川小学校児童からヒアリング

自分たちの住むまちに
「あったらいいな・
こんなことが
できたらいいな」



事前に全児童にアンケート
を実施(結果は右のとおり)

「あったらいいな」、「こんなことができたらいいな」
ベスト4

その1 ボール遊びが自由にできる場所がほしい

その2 大きなグラウンドや遊具のある公園が
ほしい

その3 夜店の復活

その4 地域の祭りや塚越フェスをもっと
盛り上げてほしい

令和元年11月 第46回車座集会

「幸区のミライを語り合おう」

参加者：区内中高生、地域の大人

小学生のアンケート結果を踏まえ、
自分たちが暮らすまちについて
考えるワークショップ及び
意見交換



主な意見

- ・ボール遊びのできる公園がほしい
- ・校庭などの施設をもっと有効に
活用できるのではないかと

子どもたちの声(ボール遊びが自由にできる場所)の実現に向けて、
地域の大人たちによる話し合い(計3回)

令和3年3月 第50回車座集会

「子どもたちが自由にボール
遊びできる場所について」

参加者：古川小児童、幸高校生
地域の大人

校庭の使い方と公園の使い方
について意見交換を実施



主な意見

- ・幸高校生からの提案
高校生のボランティアによる校庭
開放の取組
- ・様々なイベントを通して、校庭
利用のための裾野を広げていく
- ・多くの人を巻き込みながら、理解
を得ながら進めていきたい

高校生や小学生の意見を踏まえた校庭開放の取組の実現(令和3年12月)

今回の車座集会

●意見交換のテーマ

「学校の校庭についての意識を変える」
～学校の校庭は遊び場になるのか～

●前回車座集会での気づき(仮説)

「校庭の使い方が変われば、公園の使い方も変わる」
⇒「学校の校庭を、地域の遊び場として捉えることで、
子どもの遊び方を、より良く変えられるのではないか」

●意見交換の流れ

○参加者を次のグループに分けてそれぞれの立場から意見を聞く

- (1)PTA関係者(古川小PTA、区PTA)
- (2)地域団体(町内会、子ども会、公園管理協議会)
- (3)地域で活躍されている方(北野書店、幸区盛り上げ隊)
- (4)小学生・中学生
- (5)高校生ボランティア

ステップ①

- ・「古川小学校大開放デー」を見ての率直な感想
- ・これまでの校庭への認識がどのように変化したか?

ステップ②

- ・①を踏まえた中で、校庭の利用についてのより踏み
込んだ議論。

今後に向けて